

光パワーメータ 8 台接続用

3292

3292は、横河電機の高橋です。

対象測定器	品番	GP-IBボード	価格	動作環境
4 台用	W32-32924-R	ラトックシステム社	85,000 円 <small>(消費税は含まれておりません。)</small>	Win98SE/Me Win 2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
	W32-32924-C	コンテック社		
	W32-32924-N	NI社		
8 台用	W32-32928-R	ラトックシステム社	145,000 円 <small>(消費税は含まれておりません。)</small>	
	W32-32928-C	コンテック社		
	W32-32928-N	NI社		
使用できる機種			3292	

機能

指定された時間間隔でのデータ連続取込を行います。
指定された時間間隔で、指定された回数のデータをリアルタイムで Excel シートに取り込みます。
最大 20 万回までの連続データの取り込みが可能です。

スポット測定モードで製品検査にも使用できます。
「SPOT」ボタンを押すごとに、表示値を Excel シートに取り込むことができますから、製品検査にも使用できます。

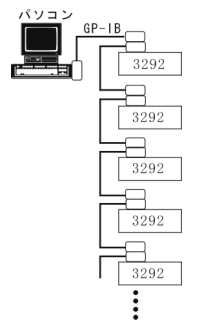


概要

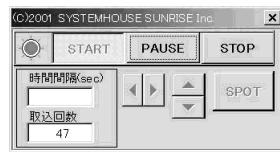
スタートすると、測定単位・測定モード・サンプルレート等を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定された回数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。



本プログラムは Excel 上のアドインとして動作します。Excel 上から本アドインを起動すると、Excel シート上に、このウィンドウが現われます。
測定単位、測定モード、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。



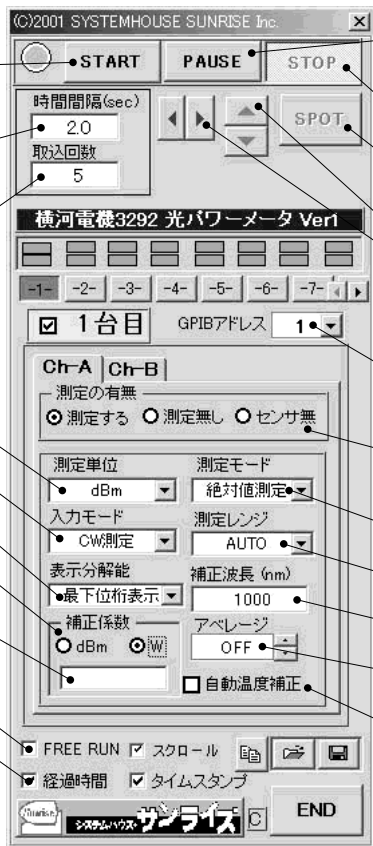
測定中はデータ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。



Excel シートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excel の機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。
また、事前にデータが取込まれる領域を Excel のグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。
本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excel のグラフウィザードを使用して作図してください。

操作説明

- 測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。「SPOT」ボタンが有効になり、「SPOT」をクリックするたびに、データが取込まれます。
- 測定の時間間隔を入力します。空欄またはゼロを入力すると、最速での取り込みになります。0 から 3,600 秒の範囲で入力します。
- 取込回数を入力します。最大 20 万回まで入力できます。取込データが Excel の最下行に到達すると、データは右側の列の先頭から入力されます。
- 測定する単位を設定します。
- 入力モードを設定します。(CW, CHOP)
- 測定桁数を設定します。
- 下記テキストボックスに入力する測定補正係数の単位を切替えます。
- 測定補正係数を入力します。空欄の場合は、補正係数の設定は行いません。ダブルクリックすると、既存値が入力されます。
- 測定中測定器を「FREE RUN」に設定します。
- 測定データと同時に、開始からの経過時間も Excel に入力します。



- 連続測定中は、測定を一時中断します。中断中は「SPOT」ボタンが有効になりますから、「SPOT」ボタンでスポット測定ができます。再度「PAUSE」ボタンを押すと、連続測定モードに戻ります。「PAUSE」を最初に押した後、「START」ボタンを押すと、スポット測定モードになり、「SPOT」ボタンを押すごとに、データを取込みます。
- 測定を強制的に中止します。
- スポット測定モード、または、連続測定中の一時中断時に有効になります。このボタンをクリックすることにより、1 回だけデータを取込みます。
- Excel シート上のカーソルを左右・上下に移動します。Excel シート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。
- 測定器側の GP-IB アドレスを設定します。
- 「測定する」は、測定値を Excel に取込みます。「測定無し」は、測定値を Excel に取込みません。「センサ無」は、センサが取り付けられていない。
- 測定モードを設定します。
- 測定レンジを設定します。
- 補正波長を入力します。
- アベレージ回数を設定します。テキストボックスをダブルクリックすると、OFF に設定されます。
- 分光感度の自動温度補正を ON にします。

注) START ボタンを押すと、各測定器の設定に 1 台当たり約 5 秒かかり、その後、測定データの取り込みを始めて、取り込み時間間隔の最速周期は、4 台の場合、約 0.8 秒、8 台の場合、約 1.6 秒です。



上がAチャンネル、下がBチャンネルを表します。
 赤色は「測定する」を表わし、青色は「測定無し」を表わし、グレーは「センサ無」を表わします。
 ここをダブルクリックをして測定器を選択することもできます。

測定データが 常に画面上に見えるようにExcelシートを自動的にスクロールします。

測定データと同時に、日付時刻もExcelに入力します。

1台目に設定した全ての測定条件を、2台目以降の測定器に全てコピーします。
 ただし、GP・IBアドレスはコピーしません。

測定条件をファイルから読み込みます。

全ての測定条件をファイルに保存します。

波長スweep測定例

